次期左京区基本計画の骨子（案）作成の考え方について

- 1 現行の「左京はあとふるプラン（左京区基本計画第2期）」を基本的に踏襲する。
- 2 次のとおり部分的に修正・追加等を行う。
  - (1) これまでの計画期間（第1期・第2期）における「取組状況」や最近の「社会状況」、またそれらを踏まえた「今後の課題・方向性」を新たに記載する。
  - (2) 「計画の目指すところ」について、区民が常に意識して目指せる目標となるよう、端的で分かりやすいスローガンの表現に改める。

現行計画「計画の目指すところ」：
自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ「豊かなところ」を大切に伝えます
  - (3) 計画期間中に顕在化した新たな課題や社会情勢の変化を踏まえて、
    - ① 3つの目標，15の取組分野，地域別目標を整理・修正する。
    - ② 目標達成のため取組を推進するに当たって，必要となる基本的な姿勢や，促進するべきまちづくりの基盤的要素を新たに設定する（以下「まちづくりの基本姿勢・要素」と言う。）。
  - (4) 計画の推進に当たっては，現状・課題（客観的データ，区民ニーズ等）を踏まえて事業を企画し，それをより効率的・効果的に実行するとともに，その結果を検証して改善に結びつける，持続的発展するまちづくりのサイクルを確立する。